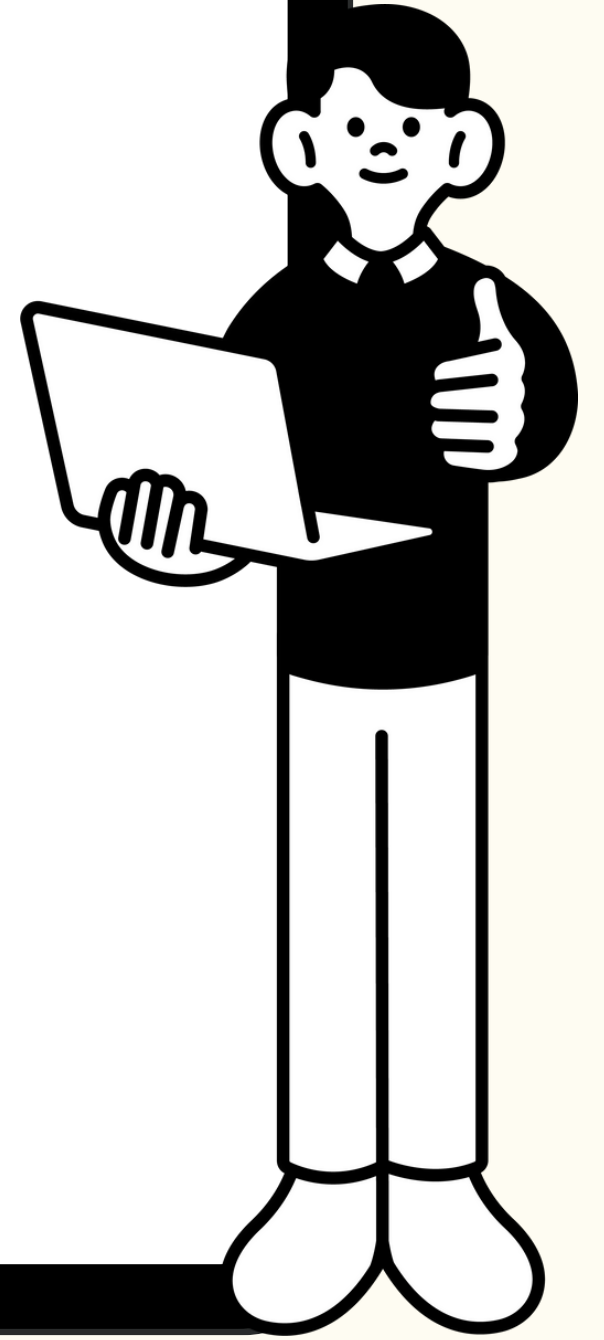
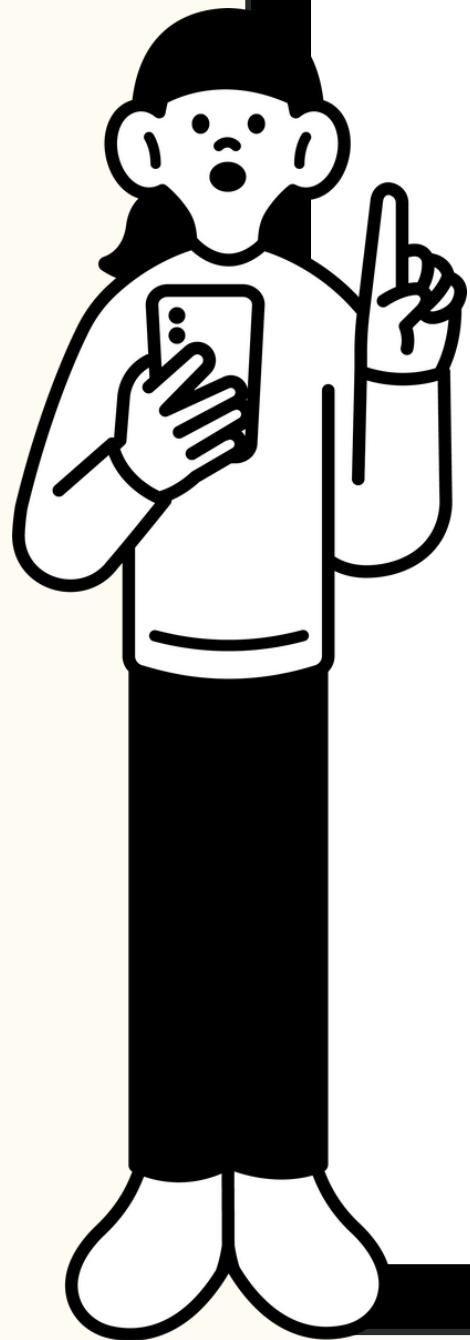




セキュリティ教育通信

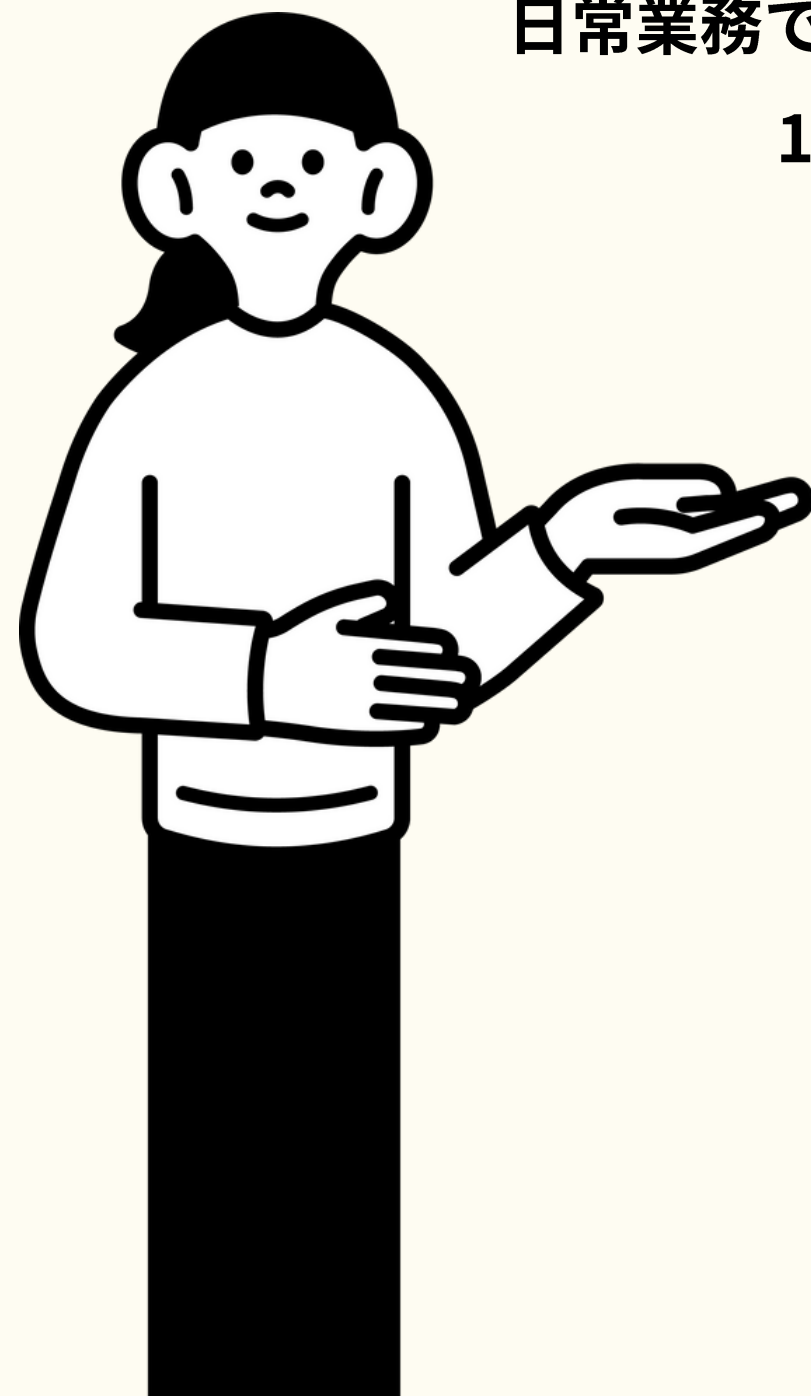
2026年 10月号

NTTドコモソリューションズ株式会社



2026年10月の セキュリティ教育テーマ

日常業務で起こりやすい3つのセキュリティリスクについて、シンプルに分かりやすく学んでいきます。
1つ1つのテーマで『なぜ危ないのか』『どう防ぐか』を具体的に紹介していきます。



1

基本対策 | Basic Countermeasures

AI利用時の情報取扱いルール

2

インターネットの脅威 | Online Threats

業務も取引先も止める「ランサムウェア」

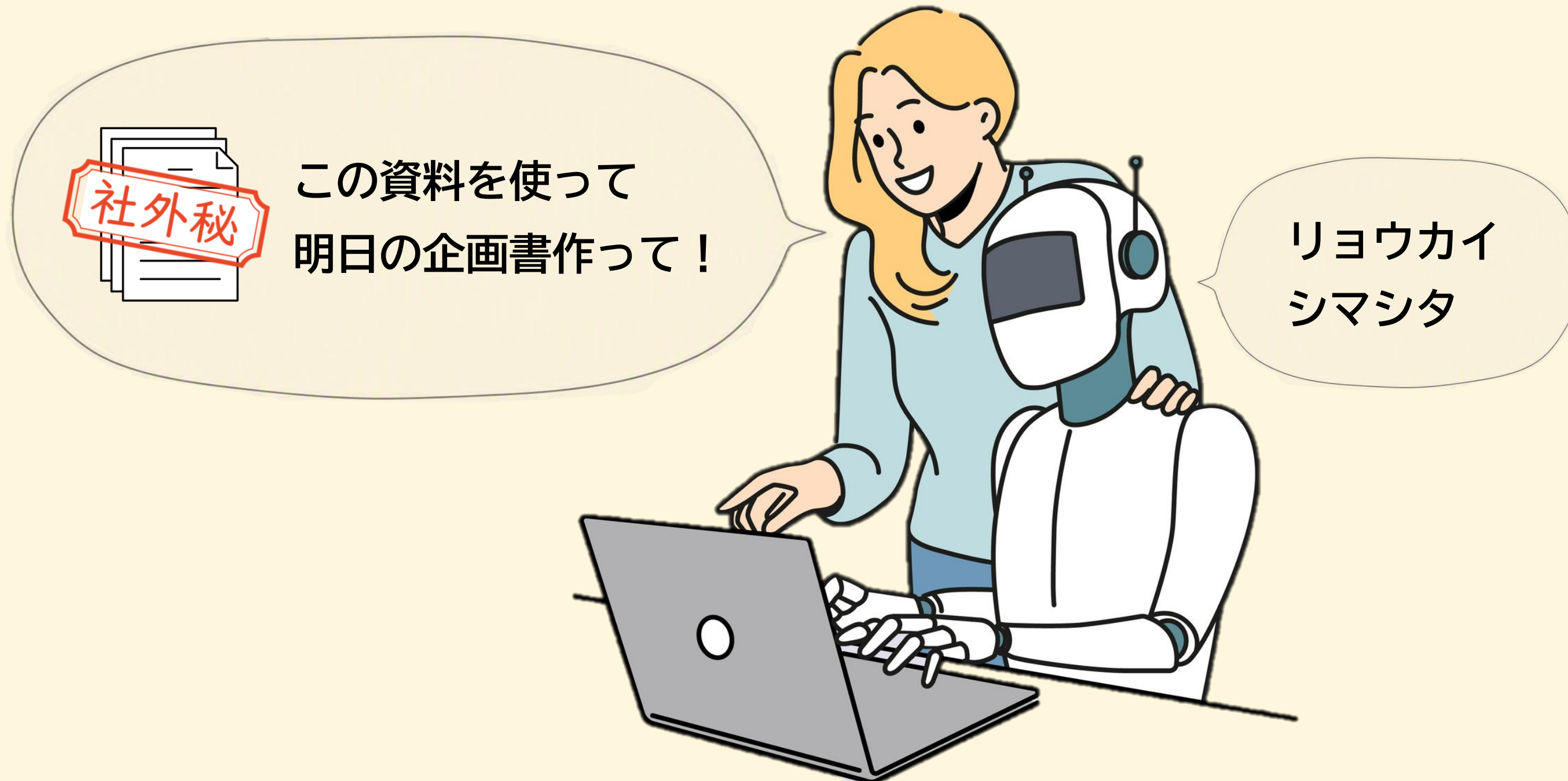
3

季節・社会動向の注意点 | Seasonal Security

非常時こそ、いつものルールを

1. AI利用時の情報取扱いルール

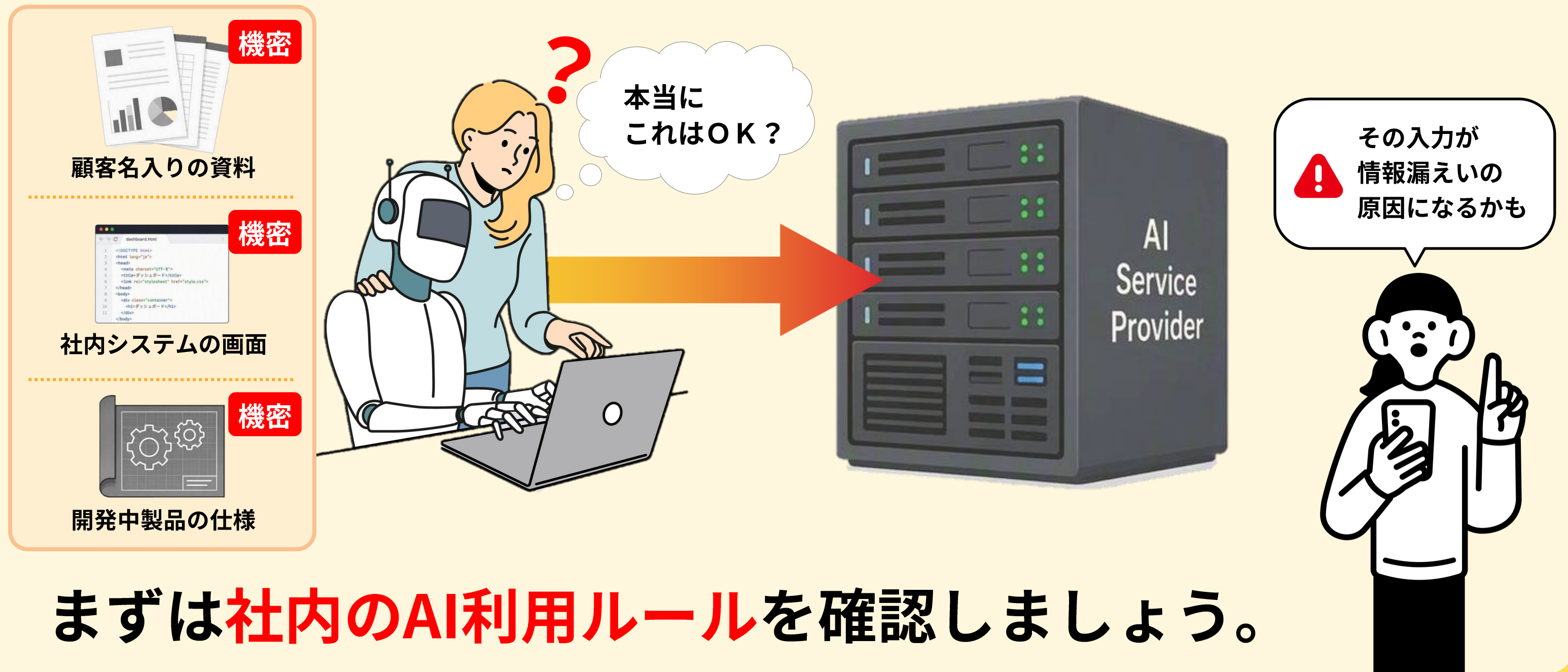
その情報、本当にAIに入力して大丈夫？



1. AI利用時の情報取扱いルール

AIには入力してはいけない情報があります。

AIに入力した情報は、AIサービス提供者のシステムで処理されるためです。



まずは**社内のAI利用ルール**を確認しましょう。

1. AI利用時の情報取扱いルール

☑ AI利用時に確認したい4つのポイント

- ☐ 会社で許可されたAIサービスか
- ☐ 顧客情報は含まれていないか
- ☐ 社外秘情報は含まれていないか
- ☐ 実名や個人情報は削除したか

入力前の確認を習慣にし、AIを安全に活用しましょう。



2. 業務も取引先も止める「ランサムウェア」

突然、会社のパソコンが使えなくなったら？



「システム障害かな？」と思ったその時、
その異変は**攻撃のサイン**かもしれません。

2. 業務も取引先も止める「ランサムウェア」

ランサムウェア被害は

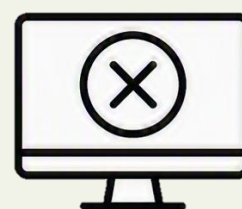
「PCが使えない」だけではありません



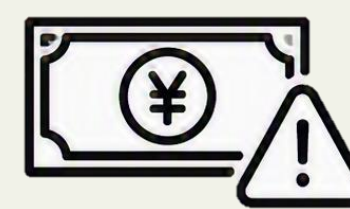
データ暗号化



情報漏洩



システム停止



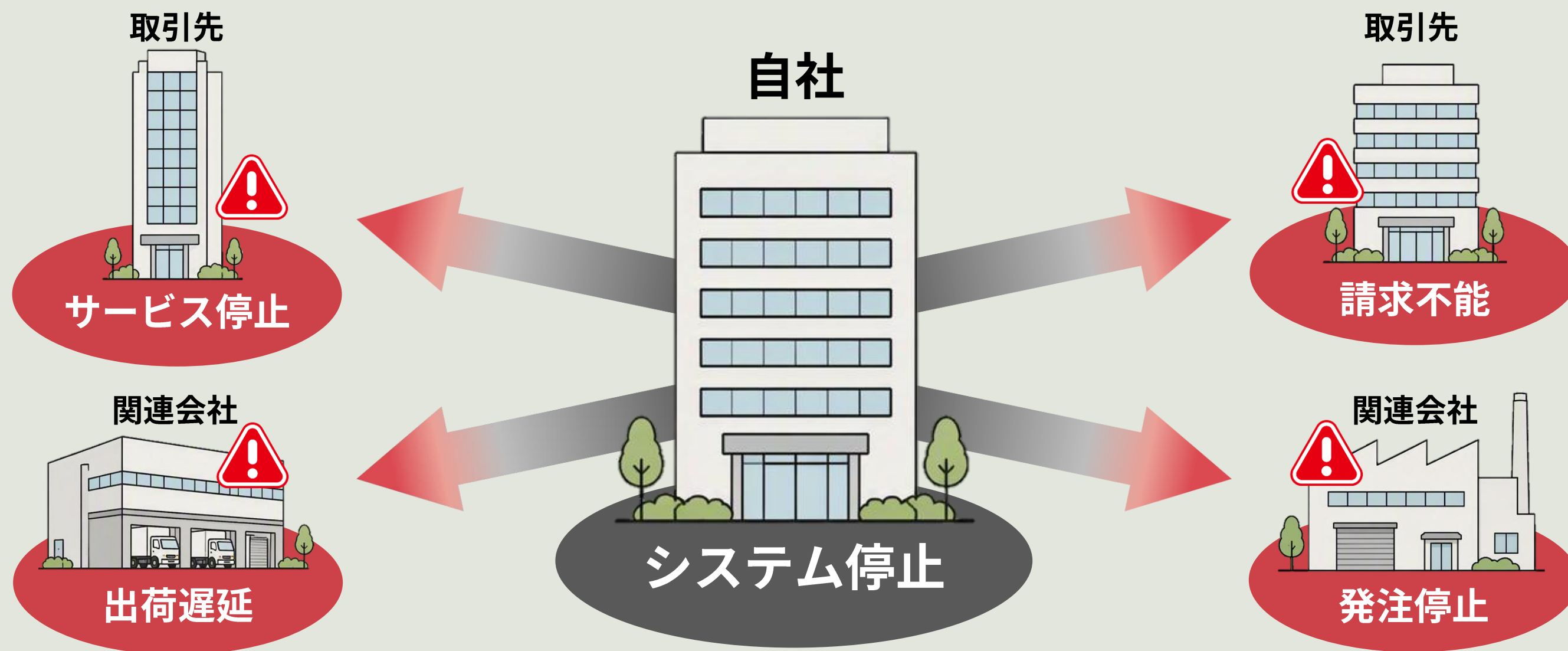
身代金要求

ランサムウェアは

複数の被害を同時に引き起こすことがあります。

2. 業務も取引先も止める「ランサムウェア」

止まるのは自社だけではありません



自社のシステム停止が、
取引先や関係会社の業務にも影響を及ぼします。

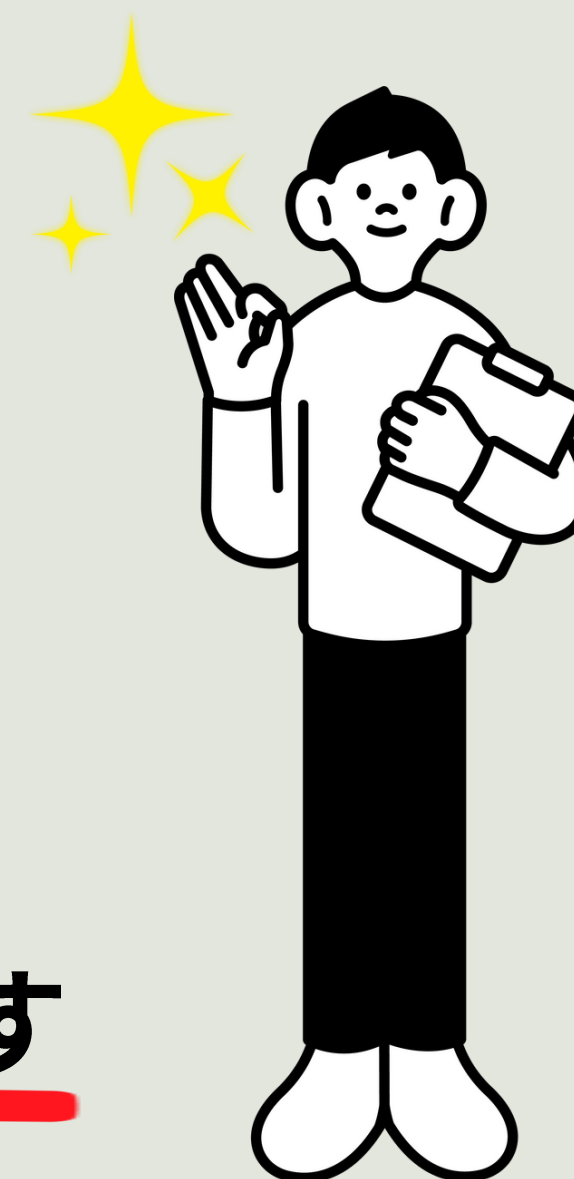
2. 業務も取引先も止める「ランサムウェア」

あなたはいくつできていますか？

☒ ランサムウェア対策チェック

- ☐ 怪しいメールを開かない
- ☐ メールやSMSの不審なリンクをクリックしない
- ☐ ソフトウェアを最新の状態に保つ
- ☐ パスワードを使い回さない
- ☐ 重要なデータを定期的にバックアップする

一人ひとりの行動が、会社と取引先を守ります



3. 非常時こそ、いつものルールを

こんなとき、あなたならどうしますか？

災害発生!!



安否確認

ヤバい！



関係者への連絡



業務への影響確認

どうしよう...



3. 非常時こそ、いつものルールを

非常時は、“いつもの判断基準”が後回しになります



対応すべきことが急増し、
焦りが生まれます。

その焦りが、「普段の確認」の省略につながるリスクがあります。

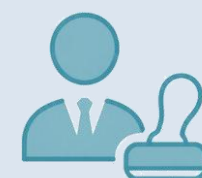
チェックポイント



会社が定めた連絡手段



情報共有の手順



承認・確認の流れ

災害時こそ、情報の取り扱いのルールを徹底しましょう

3. 非常時こそ、いつものルールを



非常時に守りたい4つのルール

- ☐ 安否確認や業務連絡は会社が指定した手段で行う
- ☐ 業務情報を個人メールや私物クラウドで共有しない
- ☐ 未確認の情報をそのまま共有しない
- ☐ 迷ったときは独断で対応せず、確認・承認を得る

非常時こそ、**冷静に**。いつもの判断基準に立ち戻りましょう。

